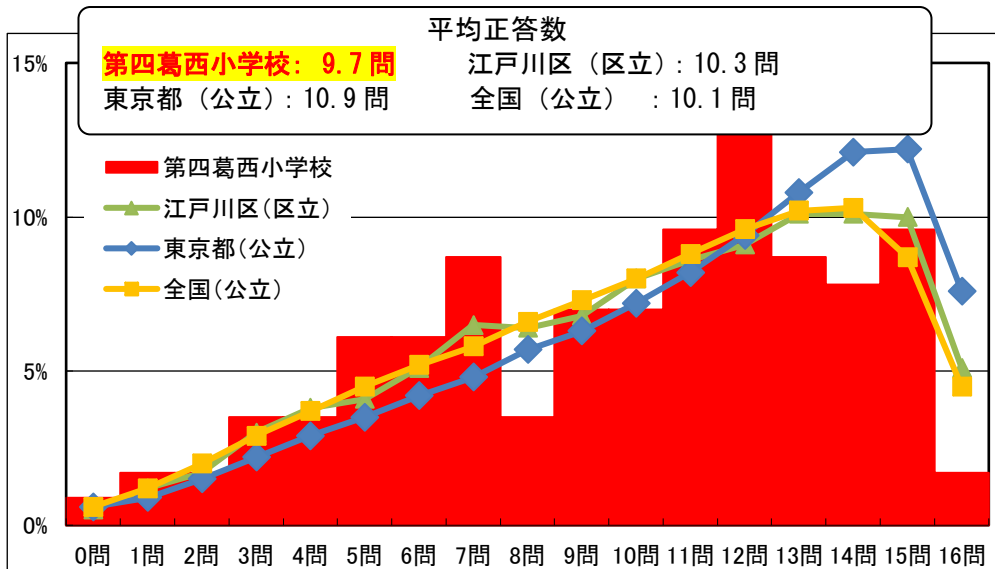


# 令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【算数】 第四葛西小学校

## 正答数分布



## <四分位における割合(都全体の四分位による)>

算数	上位 ← → 下位			
	A層 14~16問	B層 12~13問	C層 8~11問	D層 0~7問
第四葛西小学校	19.1	21.7	27.1	32.2
江戸川区(区立)	25.2	19.2	29.8	25.8
東京都(公立)	31.9	20.2	27.4	20.5
全国(公立)	23.5	19.8	30.7	26.0

## 【平均正答率の差】

第四葛西小学校	61%
江戸川区(区立)	64%
東京都(公立)	68%
全国(公立)	63.4%
都との差	7ポイント

## 【分析結果と授業改善に向けて】

本校の正答数分布は、全国、東京都、江戸川区と比較するとA層とC層の割合が低く、D層の割合が高い傾向がある。特にD層の割合が高く、6から12ポイント上回っている。資質能力の領域別に見ると、知識・技能、思考・判断・表現力ともに定着に課題が見られる。学習内容別でも、全項目において全国・東京都・江戸川区の平均を下回っている。この結果を受け、基本的な知識・技能の定着を図るため、授業時間内に既習内容を確認する問題に取り組む時間を確保する、算数カルテに取り組む、といった活動を取り入れる。また、ドリルパークを活用し、基本的な内容から復習するとともに、授業計画を見直し習熟の時間を多くする。習熟度が低い児童に対しては個別指導を行っていく。

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

## 「領域別」の結果

